

発達段階別自立支援確認シート

年齢		準備期
対象者	移行支援プログラム	発達課題
		人としての生き方を踏まえ自己を見つめ向上を図るなど自己のあり方に関する思考 社会の一員として自立した生活を営む力の育成
本人	自己支持	正確な病名、病態が言える
		自分の病気の具体的な治療内容を理解している
		検査の必要性、検査結果について病気と関連させて説明できる
		薬の効果、副作用がわかる
		受診しなければいけない症状がわかる
	自立した医療行動	自分の病気について質問したり、医療者と話すことができる
		薬の自己管理が出来る
		通院の必要性について説明できる
		病院に一人で来院できる
		必要に応じて受診行動がとれる
		受診日を医療者と相談して決定できる
		検査データや診療情報などを自己で管理できる
		成人になっても受診が必要な事がわかる
		病院の受付、会計が一人でできる
		学校等の必要な書類を把握できる
	心理的支援	必要時に協力が得られるよう自分の病気のことを友人、教師などへ説明できる
		周囲に協力してもらいたいことが伝えられる
	健康と ライフスタイル	宿泊行事の前にどのような準備が必要か自分で考え周囲の人に相談できる
		学校生活の中で療養行動の工夫ができる
		食事や運動が病気にどう関係しているかを知っている
		習い事など熱中できることを探す
		日常生活の注意点を理解し生活を送ることができている
	教育的・職業的計画	将来の夢、職業に就くため自分の病気をコントロールする必要性を理解する
	性的健康	思春期に男子では射精、女子では月経があり妊娠が可能となることを理解する
		自分の病気と性・生殖機能について正しい情報を得ることが出来る

保護者	自己支持	親子で病気について話しをしましょう
	自立した医療行動	診察時には子供の言動を見守りましょう
		受診の際、マイナンバーカードの提示や会計は子供が出来るよう促しましょう
		受診日は子供中心に決定しましょう
		子ども自身が服薬管理できるよう話し合い、怠薬しないよう見守り声掛けしましょう
		子ども自身が薬局でお薬を受け取れるようにしましょう
		通院拒否の兆候を早めに把握しましょう
	心理的支援	病気のことを伝える際にどんなことを伝えようとよいか親子で相談しましょう
		周囲にどのような協力を得たらよいか子どもと話し合いましょう
	健康と ライフスタイル	学校行事がある場合は前もって本人とどのような準備が必要かを話し合い、医療者に聞くこと、学校に伝えること、を明確にしておきましょう
		日常生活の注意点を医療者から本人に説明してもらい親子で話し合いましょう
		日常生活の注意点について子どもが遂行できているか見守り、時には支援しましょう
		自己管理を任せでも見守る姿勢を忘れないようかかわりましょう
	教育的・職業的計画	子どもの将来について親子で話し合う機会を持ちましょう
	性的健康	病気と妊娠・出産の関連性について医師からの説明後、親子で話し合いましょう